

北陸先端科学技術大学院大学研究室教育指針  
Laboratory Education Guideline

研究室教育指針は、学則第30条の3に基づき、研究指導の方法及び内容並びに修了までの研究指導の計画をあらかじめ明示するものです。

氏名： 村田英幸 役職： 教授

<p>1. 研究テーマ / Research Theme</p> <p>村田研究室では、有機半導体デバイスの基礎研究を通じた研究成果の社会実装による社会貢献を目標としています。研究テーマとしては、有機発光ダイオード（OLED）や可視光無線通信用の光アンテナに関する基礎研究を実施しています。民間企業との共同研究によって、OLEDの精密な評価装置や有機半導体材料の真空昇華精製装置を開発しています。金沢市との共同研究では、金沢金箔を原料とした導電性ペースト用フィラー材料の開発を行っています。</p>
<p>2. 修得が期待される能力 / Competencies expected to be acquired</p> <p>研究室教育は必修 A 科目（先端）又は研究支援科目（融合）の一部として単位化されており、この欄はそれら科目のシラバス上の達成目標の一部となります。</p> <p>Laboratory Education is accredited as a part of the Required courses A (Division of Advanced Science and Technology) or Research Support Courses (Division of Transdisciplinary Sciences), and this section constitutes a part of the course goals stated in the syllabus for such subjects.</p> <p>研究室での研究活動を通じて自己研鑽を積み、自分で考えて自律的に行動できる研究者を育成することを目標としています。研究活動を通して、学術的、社会的に価値ある研究を主体的に遂行できる能力を身につけることが期待されます。具体的には、次の能力の修得が期待されます。（1）研究を実践するために必要な情報収集および分析能力（2）設定目標を達成するための計画立案能力（3）研究活動の実践能力（4）研究成果の価値を伝えるためのコミュニケーション能力。また、修得が期待される専門知識には、光化学、固体物性論、有機デバイス物理などが挙げられます。</p>
<p>3. 研究指導方針 / Research Guiding Principle</p> <p>学部教育が専門知識修得のための基礎を習得する場であるのに対し、大学院では基礎知識をベースにより高度で最先端の知識を修得し、それらを駆使して“研究を実践する場”であると考えています。研究課題に真正面から挑んで試行錯誤し、困難を乗り越える経験をすることが最も重要と考えています。</p>
<p>4. 研究室活動の内容及び方法 / Content and Methods of Laboratory Activities</p> <p><input type="checkbox"/> 日次活動：朝礼、コアタイム</p> <p><input type="checkbox"/> 週次活動：個別研究ミーティング（隔週）、実験室の整理・整頓</p> <p><input type="checkbox"/> 月次活動：研究報告会、最新論文紹介</p> <p><input type="checkbox"/> 不定期活動：研究室セミナー、国内・国際学会参加、倫理講習受講、昼食会、新入生歓迎会、修了生送別会、修了生と在校生との交流会</p>
<p>5. 年間スケジュール / Annual Schedule</p> <p>本学の全学共通の年間スケジュールは「履修案内」の「学位取得に至るスケジュール」を参照してください。（本学HP参照：ホーム&gt;教育&gt;履修関係&gt;履修案内）</p> <p>Please refer to the “Degree conferment schedule for the master’s program/doctoral program” in the “Degree Completion Guide” for university-wide common schedule (JAIST website: Home &gt;Education&gt;Taking Courses&gt;Degree Completion Guide)</p>
<p>1年次（4月入学者の例）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究室内新入生研修（4月）</li> <li>・研究室紹介（オープンラボ）（5月）</li> <li>・卒業研究発表会（展開配属者）（7月）</li> <li>・修士研究テーマの決定（8月）</li> <li>・研究背景調査報告会（M1、9月）</li> <li>・応用物理学会、北陸信越支部参加（12月）</li> <li>・研究計画提案書の作成指導（2月）</li> </ul>

## 2年次

- ・国内学会（有機 EL 討論会、応用物理学会など）、各種国際学会（修士修了までに最低 1 回は発表）
- ・修士論文概要説明（12 月）
- ・修士論文執筆（12 月～翌年 2 月）